

Q 「とつかわこめぞー」の活用拡充を

A 来年度は、今年以上に観光PR活動を強化していく

Q 教員以外の外部コーチ活用など、部活動指導体制の構築を

A 教員の指導が基本。必要に応じ外部コーチも招聘している

慮する。TPPの発効までは2年ほどかかるとの見込みであり、さらにTPPによる影響対策も不透明な部分もあることから、今後発表となる国の政策を注視していくことが重要と考える。

長期的観点でみると、TPP協定締結後の影響は楽観できない。加えて人口の減少や米離れによる米消費の減少が生産者に対し少なからぬ影響を及ぼすことが懸念されることから、全国町村会では特別決議をもって米農家の保護と支援を国に要請している。町独自としても農業団体及び関係機関と連携し、様々な機会を通じて、国に対して将来に渡り農業経営が安定して継続できるように、経営安定化対策や農業経営者の体質強化を強く訴えていく。



観光PRキャラクターの活用拡充を

質問 「とつかわこめぞー」が完成し、諸行事で活動しているがその内容と今後の活用方法を伺う。

町長 PRキャラクターは、本町の観光振興計画に基づき、観光や産業等の広報宣伝活動を充実させるとともに、本町のイメージ向上を期待し作成した。町内のイベントでは「ふるさとまつり」、「青空図書館」に、町外では「札幌大通公園ビアガーデン」、「HTB いちおしまつり2015」などに参加するなど、今年度は9事業においてPR活動を実施した。

また、こめぞーのぼり、フェイスタオル、ストラップ、ボールペンなどのグッズも作成し販売を通じたPRにも努めている。

次年度以降は、町内外の諸行事への積極的な参加や、キ



ャクターのアピールにより、特産品や観光PR活動を強化していく。

部活動の指導体制の構築を

質問 世界一多忙といわれる日本の教員。その要因に部活動の指導があるといわれている。これを解消すべく競技歴か指導経験のある人材を招聘するなど部活動の指導体制を構築すべきでは

教育長 中学校の部活動は、学校教育の一環と位置づけており、学校経営方針のもとに部活動がある。部活動は生徒指導の一部となっていることから、本町中学校では、全ての教職員が何らかの部活動を担っている。教職員に負担を及ぼしていることは否定できないが、部活動指導を通じて生徒との信頼関係の深まりにより、日々の授業や学校生活への好影響があることを評価する必要がある。

外部コーチについては、必要に応じて学校の教育方針に基づき、部活動顧問と連携の競技力向上に努めている。

なお、教員の中では、競技経験（専門種目）豊富な先生や競技経験の浅い先生がいることは事実であるが、どちらの先生も、生徒たちの秘めた能力や意欲を喚起しつつ日々の部活動の指導に取り組んでいる実態をご理解願いたい。

新十津川中学校の部活動加入状況（平成27年5月1日現在）

部活名	加入人数	部活名	加入人数
卓球部	44人	女子バレーボール部	14人
サッカー部	22人	女子ソフトボール部	13人
野球部	17人	剣道部	9人
男子バスケットボール部	15人	吹奏楽部	41人

※全校生徒数196人